

グッズ カタログ 2015

保存版



公益社団法人東京都理学療法士協会
小児福祉部

保存版 アイディアグッズカタログについて

東京都理学療法士協会小児福祉部では、都内在住の障がいを持った子ども達とご家族、子ども達を支援する様々なスタッフの皆様に対して情報発信を行っており、一昨年からキッズフェスタに出展致しました。

一昨年、昨年と日頃ご家族が子ども達のために工夫しているグッズやアイデアを募集し、実際に展示、アイデアグッズ集としてまとめさせて頂きました。また、昨年はよりご家族のニーズにお応えしたく、事前に「日常生活の困っている事」についてアンケートを実施し、124名のご家族から回答を頂きました。

今年は集計・分析したアンケート結果を踏まえて少しでも困り事が解決できるように一昨年、昨年の中から選出したアイデアグッズに加えて小児福祉部員のコラムやおすすめグッズを掲載した「保存版 アイディアグッズカタログ」を作成致しました。

また、今回はより愛着を感じ、身近に置いて頂き、いつでも使ってもらえるように表紙や裏表紙などのイラストを様々な分野でご活躍されている妹尾慎也氏に依頼致しました。

素敵なイラストのように子ども達やご家族、そして子ども達を支援する様々なスタッフの皆様が毎日を笑顔で楽しく過ごせるように、このアイデアグッズカタログを活用して頂けると幸いです。

公益社団法人東京都理学療法士協会
小児福祉部
部長 黒川洋明



もくじ

ママたち124人に聞きました
 日常生活で困っていること
 BEST 3 P3

姿勢

*理学療法士より P6
 ちょこっとクッション 8
 アームカバー 8
 手の曲りをおさえるベルト 8
 ネックサポーター 9
 首楽ちゃん 9
 ヘッドマスターカラー 9
 Headpot 9

医療的 ケア

*理学療法士より P11
 ふわふわカニューレバンド 13
 胃ろうパフ 14
 人工鼻カバー 14
 人工鼻固定ベルト 14
 バンダナスタイ 14
 背中固定のスタイ 14

衣類

*理学療法士より P16
 ロンパース 18
 車いすに乗ったまま
 着られるパーカー 18
 胃瘻用ボタンホール 19
 靴ひもグッズ 19

移動

*理学療法士より P21
 移動用抱っこひも 23
 レインカバー 24
 手作りハンドリム 24
 送風クッション
 AEROSEAT 24
 ルームシューズ 25
 ギプスシューズ 25
 四つ這い用膝当て 25

遊び

*理学療法士より P27
 でこぼこ絵本 28
 めくって遊ぼう 28
 ペットボトルのおもちゃ 28
 ペットボトルトルネード 28
 おもちゃスイッチ 29
 テーブルに固定して
 遊べるおもちゃ 29
 プラズマカー 29

食事

*理学療法士より P31
 はじめておはし 33
 くるくるグリップ 33
 食事用エプロン 33

その他

*理学療法士より P35
 段ボール斜面台 37
 肘装具
 鼻チューブ抜去防止用 37

東京都理学療法士協会
 小児福祉部の紹介 P38

— ママたち124人に聞きました —

日常生活で困っていること BEST3

* 姿勢 *		具体的な内容
1位	身体の影響による姿勢の崩れ	・力が入って姿勢が崩れる
2位	道具・機器の問題	・お尻がずれてしまう ・簡易的なクッションがほしい
3位	姿勢の崩れによる身体への問題	・前に倒れて勉強できない ・姿勢の崩れによりせこせこする

* 医療ケア *		具体的な内容
1位	医療物品の問題	・カニューレの固定が難しい ・胃瘻、腸瘻接続部が外れやすい ・呼吸器回路が外れやすい
2位	医療物品の充足	・コンパクトな人工鼻が欲しい ・子ども向けにデザインした人工鼻、カニューレベルトが欲しい
3位	医療的ケアの負担	・胃瘻ケアが大変 ・吸引に時間を要する ・薬を上手に飲ませることができない

* 衣類 *		具体的な内容
1位	身体の成長による問題	・拘縮、筋緊張による介助量増加（着脱困難） ・体格による制限
2位	衣服自体の問題	・ボタン、フックサイズなどの作りによる制限 ・年齢相応、かわいいものがないなど、デザインによる制限
3位	専門家による対応の必要性	・デザインや服のつくり（体格や拘縮など）に対する修正 ・着脱しやすい衣類の情報、作成

* 移動 *		具体的な内容
1位	身体の成長による問題	・身長や体重の増加し、抱っこが大変 ・冬場に手足が冷たくなる ・移動時の骨折が心配
2位	道具・機器の問題	・車椅子やバギーの問題（背中の通気性、重さ、収納性、操作性の改善、荷物をあまり運べない） ・児童用の抱っこひもの必要性
3位	専門家による対応の必要性	・車椅子などでの下肢のつっぱりによる姿勢の崩れ ・カーシートでの姿勢の崩れ ・姿勢の保持における市販品の限界

* 遊び *	具体的な内容
1位 様々なおもちゃの必要性	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な姿勢やバギー上で遊べるもの • シンプルで丈夫なもの(耐久性、防水など)
2位 遊びの制限	<ul style="list-style-type: none"> • 医療機器(カニューレ等)による制限 • 機能障害や身体の成長に伴った制限
3位 遊びやおもちゃの提案	<ul style="list-style-type: none"> • 手軽に自作出来るおもちゃの提案 • 成長に合わせたおもちゃの工夫

* 食事 *	具体的な内容
1位 食事道具の充足	<ul style="list-style-type: none"> • 子ども用の握りやすいスプーンやフォークが欲しい • すべらない食器やこぼれにくいコップが欲しい • 子どもから大人まで使えるようにエプロンのデザインを増やして欲しい
2位 形態食調理の負担	<ul style="list-style-type: none"> • 形態食の準備、作り置きが大変 • 形態食のレパートリーが少ない • 形態食に調理しにくい食材があり手間がかかる
3位 食事介助の負担	<ul style="list-style-type: none"> • 食べこぼしが多く、周りが汚れてしまう • 口唇介助などの介助動作が大変

* その他 *	具体的な内容
1位 福祉用具に関する要望	<ul style="list-style-type: none"> • サイズの幅を増やして欲しい • オシャレで安価なものがほしい
2位 教育や癖で困っていること	<ul style="list-style-type: none"> • 自傷する癖を止めさせたい • 体動の激しい児の入浴介助が大変
3位 設備やサービスの問題・提案	<ul style="list-style-type: none"> • オムツの交換台が小さく、成人では使えない • 福祉用具は購入前に実際に試してみたい

アンケート期間：2013年9月～2014年2月
 124名の保護者の皆様、ご協力いただきありがとうございました





子ども達はお母さんのおなかの中で大きくなり、生まれてきます。
生まれてきた世界はお母さんのおなかの中の重力を感じない世界とは
異なり重力の影響を受けます。

生まれた子ども達は異なる世界に慣れようと頑張ります。
障がいを持った子ども達は思うように身体を動かさないために、
身体の一部に緊張が入ってしまい突っ張ったり、反り返ったりとするかもしれません。
しかし、子ども達にとっては、やっと動けた！と喜んでいるかもしれません。
「おなかすいた」「もっと遊んで」などと訴えているかもしれません。



子ども達は生まれてきた世界に興味を示し、
自分なりの動きで経験・学習・適応していきます。

子ども達の得意な動きを尊重してあげることも大切です。

身体の一部に緊張が入りやすい状態が続くと身体が固くなったり、
側弯などの変形が生じるかもしれません。



それは子ども達が頑張る環境に適応しようとした結果生じてしまったものであり、
子ども達の努力の結果であり、その子なりの発達だと思えます。

しかし、側弯等の影響で呼吸しづらかったり、食事を食べにくくなったり、また姿勢が崩れやすく遊びに
くったり、身体の固さなどでお母さん、お父さんの移乗や着替え時等の負担が増えてしまうことは避け
なければなりません。

障がいを持った子ども達の姿勢で大切なことは真っ直ぐな良い姿勢にこだわらず、子ども達の動きを尊
重した姿勢の支援、その姿勢から崩れてしまった姿勢からの支援が重要と考えます。

*姿勢について困っていること

1位：身体の影響による姿勢の崩れ



安定した姿勢をとるには支える面、支える力が必要です。

寝ている姿勢と座っている姿勢では身体が床と接する面積が異なります。

また、座っている姿勢では頭～体幹の重さを支える力が必要です。

とりたい姿勢において身体のどの面を支えると安定するか、身体のどこの重みを支える必要があるか考
える必要があります。

しかし、子ども達にとっては身体の状況からどうしても難しい姿勢があるかもしれません。頑張らせてし
まうといつも以上に身体に負担がかかり、身体の固さや側弯などの変形が進んでしまうこともあるので注

意が必要です。

いつもの車いすやバギー、座位保持椅子などの使用中の子ども達に変化がみられたら、リハビリ担当や業者さんに連絡して評価してもらいましょう。

特に身長体重が増えやすい3～5歳、11～14歳はこまめにみてもらいましょう。



2位：道具・機器の問題

子ども達は成長により、体格が変化します。また、その日の体調によっては普段使用している椅子などが合わないこともありますので、常に道具や機器に関して子ども達に合っているかチェックすることが必要です。もし、合っていなければ作製してもらった業者さん、リハビリ担当に相談してみましょう。

座っている際にお尻が前方にずれやすい場合、100円ショップで販売されているすべり止めを座面に敷くことで改善するかもしれません。

クッションに関して、やわらかいクッション（例：ビーズクッション）は肌触りがソフトで気持ち良く、身体を優しく包み込んでくれますが、しっかりと身体を支えることには不向きです。

ポジショニングなどの身体を支える際に使用する場合はある程度固さのあるクッション（例：ストロービーズや蕎麦殻など）が適しています。

本誌では8ページに固さを調整できる「ちょこっとクッション」を掲載しています。

子ども達の身体の状況や目的に応じて使い分けることが大切です。



3位：姿勢の崩れによる身体への問題

私たちは日常生活において目的に応じて色々な姿勢になっています。

食事や活動場面では身体を起こし、身体を休める場合は身体を寝かせる必要があります。しかし、身体の固さや側弯などの変形により、その姿勢では落ち着くことができず、姿勢が崩れたり、呼吸が苦しくなりげこぜこせしてしまうことがあります。

例えば身体を起こした時に下顎が上がり、頭が後方に倒れた姿勢は唾液等が気管へ流れやすく、ムセたり、誤嚥の原因になることがあるので注意が必要です。また活動場面では、視線を前方や下方に向けられないと能動的な参加は難しくなってしまいます。

姿勢が崩れてしまうのは必ず原因があります。1位の「身体の影響による姿勢の崩れ」にも記載しましたが、目的の姿勢をとりたい時や普段使用している椅子などが合わなくなってきた時にはリハビリ担当や業者さんに相談してみましょう。

本誌では9ページに身体を起こした際に頭の重みで姿勢が崩れやすくなるため、頭の重みを支える「ネックサポーター」「ヘッドマスターカラー」「Headpod」を掲載しています。



（島田療育センターはちおうじ 黒川 洋明）

ちよこっとクッション



ベビーカーや車椅子に座っている時、姿勢の崩れを防ぐために、クッションを使いたい！！
ポジショニングをするとき隙間を埋めるちょっとしたクッションが欲しい。

100均に売っているもので、本人に合わせたサイズのクッションが簡単に作れます！
通気性がよく、洗濯もできるので便利です。

<使用するもの>

- ・洗濯ネット（目の細かいもの）
- ・メッシュケース
- ・パウダービーズ

- ① 洗濯ネットに必要な量のパウダービーズを入れる
- ② メッシュケースに①を入れる

アームカバー



注入チューブが気になって抜いてしまう……。抜去防止のため、肘が曲がらないようにするカバーです。

<使用するもの>

- ・ガーデニング用もしくは手芸用のワイヤー（メッシュ状のシートなど）
- ・幅のある紐
- ・布
- ・マジックテープ

手の曲れをおさえるベルト



<使用するもの>

- ・100均の角ガード
- ・ベルト（使わなくなった気切固定用のものなど）

ネックサポーター

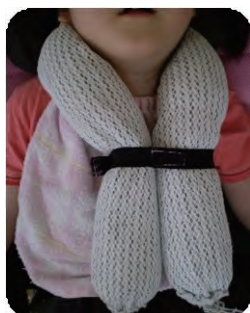


<使用するもの>

- ・針金または自遊自在
- ・スポンジ
- ・布

- ① 針金または自遊自在にスポンジを巻き付ける
- ② 布でカバーを作る

首楽ちゃん



<使用するもの>

- ・洗濯ネット
- ・ストロービーズ
- ・マジックベルト

ヘッドマスターカラー



*ヘッドマスターカラー（フクイ株式会社）

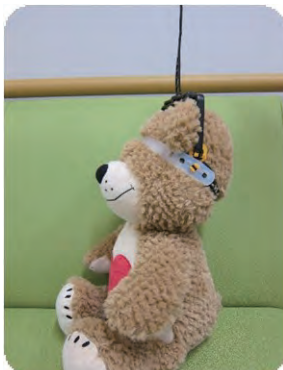
頭部を支える装具です。

首がすわっていないお子さんに使用すると頭が不安定にならずに起こすことが可能です。また、気管切開しているお子さんでは顎がカニューレに接触することも防ぐことができます。

しかし、頭の動きがある方（特に左右に回す）は顎が装具と擦れて痛いかもしれませんので注意が必要です。

※ 医療用装具ですので購入希望の方は補装具申請が必要です。リハビリ担当者または主治医にご相談下さい。

Headpot



*Headpod（昭和貿易株式会社）

頭部を支える装具です。

ヘッドマスターカラー同様、首のすわっていない、気管切開しているお子さんの頭の安定に有効です。

Headpodは頭の重みを軽減しながら自由に動かすことも可能です。

※ 医療用装具ですので購入希望の方は補装具申請（特例補装具として）が必要です。リハビリ担当者または主治医にご相談下さい。





医療技術の進歩により、医療的ケアが必要な子ども達が増えてきており、理由として以下の3つが挙げられます。

- ① 気管切開や人工呼吸器、経管栄養などが必要なお子さんがNICUから退院できる。吸引や吸入、カニューレ交換、人工呼吸器関係、注入などの医療的ケアをご家族が習得することで退院できます。
- ② 内臓疾患にて中心静脈栄養などを行っているお子さんが小児科病棟から退院できる。中心静脈栄養の衛生管理やポート針の差し替え、人工肛門に関する管理などが必要です。また、活発に動けるお子さんの環境設定なども必要です。
- ③ 自宅や地域で暮らすお子さんが年齢を重ねて重症化し、医療的ケアが必要になる。お子さん本人の医療的ケアの受け入れが必要です。ご家族もお子さんと一緒に年齢を重ねてきており、医療的ケアの習得や生活方法・生活リズムの変化などへの対応が必要です。

医療的ケアは、命に関わるため一日を通して気が休まらず、医療職でないご家族が行い続けることはとても大きな負担となります。呼吸器やモニターのアラーム、医療的ケアにかかわる機器の洗浄なども負担となります。しかし、過度に医療的ケアだけに集中してしまうと、日常生活を楽しめず、温かな親子関係を築けなくなってしまう恐れもあります。そこで、医療的ケアにかかわる事柄を日常生活に合わせて、安全で、簡単な方法に工夫することで、ご家族・支援者の負担が改善していけたらよいと思います。

*医療的ケアに関して困っていること

1位：カニューレの固定が難しい、胃瘻・腸瘻の接続部や呼吸器回路が外れ易い

カニューレの固定は緩いとカニューレが抜けやすく、きついと循環が悪くなってしまいます。また、緊張が強く反り返ってしまうことや、姿勢を変えるときなどにも抜けやすくなります。そこで、適度に固定する必要があります。カニューレバンドを止める目安としては、大人の小指が一本入るくらいと言われています。

カニューレが抜けた時には再挿入する必要があります。しかし、紐でしっかり結んでしまうと外すのに慌ててしまいます。そこで、マジックテープ式であると慌てずに固定を外し、カニューレを再挿入しやすくなります。材質によっては擦れて、皮膚を傷つけてしまうこともあります。本冊子13ページ「ふわふわ

カニューレバンド」を参考にしてみてください。

呼吸器回路とカニューレの外れやすさに関しては、100円ショップで売っている、両端にクリップの付いたバンド（帽子止め、タオル掛け）を使用することもできます。バンドを回路に巻いて、あとはすれにくい位置にクリップを洋服に止めます。そのほかの方法として、背中で止められるように工夫をしたよだれかけにて固定する方法もあります（14ページ）。回路自体の外れやすさに関しては、呼吸器の業者さんにご相談ください。

胃瘻とコネクタの外れやすさについては、お化粧のパフの中心をくりぬき、胃瘻周囲を固定することで、チューブがすれにくくする方法があります（14ページ）。動いて外れやすい時などは、テープで固定することも必要かもしれません。担当の看護師さんに相談してみてください。

2位：コンパクトな人工鼻、子ども向けにデザインした人工鼻・カニューレベルトが欲しい

人工鼻の形には縦型と横型のものがあります。これは身体（肺）の大きさで形が決まってくるため、お医者さんが適切なサイズを選んでいきます。

子ども向けのデザインについては、人工鼻が落ちないようにするもの（13ページ）や人工鼻にシールを貼るなどして、かわいらしさ、子どもらしさを追加することはできます。また、スタイやバンダナなどを首に巻くことにより（14ページ）、人工鼻を目立たなくするとともに、お洒落にもなります。

3位：胃瘻ケアが大変、吸引に時間を要する、薬を上手に飲ませることができない

胃瘻については皮膚トラブルや抜けてしまったりすることがあります。皮膚トラブルについては洗浄などで清潔する必要があるため、医師や看護師に相談してください。

漏れに対しては、化粧用のコットン、ティッシュでこよりを作って巻いている方もいます。また、寝返りやすり這いなど活動量が多く、胃瘻部が擦れて周囲が荒れやすい場合には、上記の化粧パフで固定したり（14ページ）、腹巻を巻いてすれにくくするのも良いかもしれません。

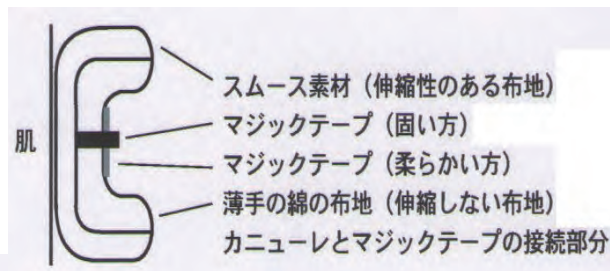
吸引回数が多いことに関しては、唾液の垂れ込みが多くて吸引が多い方の場合には、持続吸引などを医師に相談するのもよいかもしれません。また、吸引が少なくなる姿勢を理学療法士と検討するのも良いと思います。

薬の飲み方に関しては、飲めない原因を医師や看護師、理学療法士などと評価してみましょう。錠剤が飲めない、粉薬が飲めない、まずくて飲まない、そもそも飲み込むのが苦手など、が原因として考えられます。

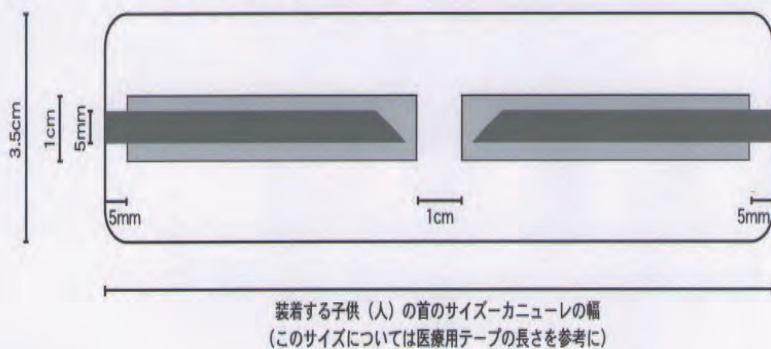
（訪問看護ステーションそら 中野 弘陽）



ふわふわカニューレバンド



◎サイズ&全体のイメージ

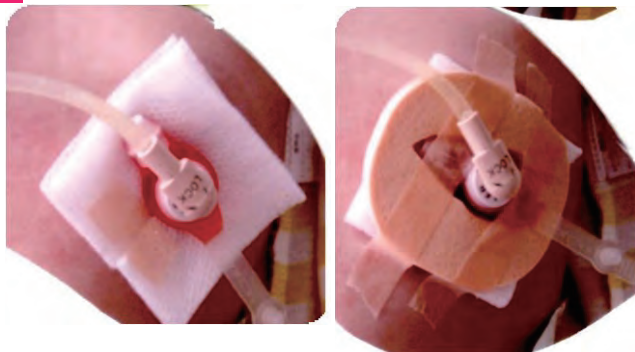


<使用するもの>

- スムース素材 (伸縮性のある布地)
- 綿の薄手の布地 (伸縮しない布地)
- キルト芯
- マジックテープ

1. 伸縮しない布地を、型紙を元に縫い代を1cm程度とり裁断する。
2. マジックテープの柔らかい方を1cm×●cm (カニューレテープの長さの半分-1cm) を2本 マジックテープの固い方を5mm×●cm (上記マジックテープの長さ+1cm) を2本
3. 1の布地の表側にマジックテープの柔らかい方を縫い付け、マジックテープの固い方を取り付け位置に付け、用意しておく。
4. 3で用意した布地 (裏) とスムーズ素材 (表側。素材の伸びる方向をカニューレテープの幅の方向に合わせ、伸びにくい方向をカニューレテープの長さの方向に合わせる) とキルト芯を順に重ね、3の布地と同じ大きさに裁断し、3枚一緒に仮縫いしておく。キルト芯は左右の長さをマジックテープの固い部分の端のガードのために5mm程長く裁断すると、折り返して固い部分の刺激を緩和できるようです。
5. 仕上がり線 (赤の点線。裏返すために4~5cm程度残して) で3枚一緒に縫う。マジックテープの固い方は、カニューレテープの命とも言える部分なので、絶対抜けないように上からさらにしっかりと縫い付ける。この時、キルト芯の長くした部分を後ろに折り返しマジックテープの端をガードできるように仮止めしておく。キルト芯の上下は仕上げ線で縫った後に5mm程度残して線より余った部分を切っておく (そのまま裏返すと少し厚みが出過ぎてしまうので)
6. 開いている部分から、スムーズ素材と伸縮しない布地の間から開くように裏返す (固いし小さいので裏返すの大変だけど・・・棒など使って頑張ると・・・あとちょっとです)
7. 形を整え、開いていた部分をかがり縫いして完成です。

胃ろうパフ



<使用するもの>

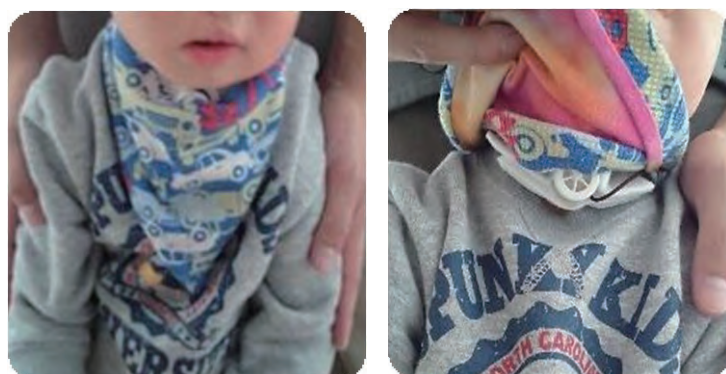
- 化粧パフ
- Y字に切り込みを入れたクロスガーゼ
- テープ

- ① 100均で購入した化粧パフを胃ろうボタンの涙型に切り取る。
- ② Y字ガーゼを胃ろうボタンの下に敷いて繋ぎ止めをテープで止める。
- ③ 化粧パフをチューブに通して胃ろうボタンを固定したらずれないようにテープで止める。

人工鼻カバー



バンダナスタイ



人工鼻固定ベルト



背中固定のスタイ







「その服かわいいね！かっこいい！」「この服着るとあたたかい！涼しい！」「この服・靴なら雨の日でも大丈夫」これを読んでいる誰もがこのような言葉を日常の中で聞いたことがあるかと思います。衣服とはそれほど人の近くに存在するものです。

生まれてすぐあなたは体温を調節するために大きなタオルで包まれた事でしょう。大人になれば暑い日には涼しい服を、寒い日には暖かい服を自ら選ぶことができます。でも、赤ちゃんは体温調節機能が未熟なうえに言葉としてうまく伝えることができません。その結果風邪をひきやすく、時には重症化してしまうこともあります。これは障がいをもつ子どもたちにも同じことがいえます。

また、あなたは大人になるにつれ、洋服をかわいいものやかっこいいものなど自分好みのものを着たいと思い、さらに自分の体格にあう服を着るようになったのではないのでしょうか？障がいをもつ子どもたちも同じように感じ、考え、願っていると私は思います。そして同様にお父さんやお母さん、家族のみんなもきっとそう強く思っているのではないのでしょうか。

子どもたちの成長とは本人はもちろん家族にとって大きな出来事であり喜ばしいことです。しかし、成長し筋肉のバランスが変わってきて、その中で頑張ろうと筋肉に余計な力が入ってしまうこともあり、結果として身体が固くなり、衣服の着脱で子どもたち・家族の双方に負担がかかることもあります。それに、胃瘻や皮膚の弱さなどから選べる衣服が制限されることもあります。

障がいを持った子どもたちにとって衣服は需要や希望に対して十分な対応がなされているとは言い難く、私たちは今後子どもたちや家族にとって着たいと思ってもらえるデザイン性、着やすい・着せてあげたいと思ってもらえる機能性（体温調整や身体保護、介助量など）を備えた衣服の情報収集や提供、作製やアレンジ方法など多方面から支援をしていければと考えています。

*衣服について困っていること

1位：身体の成長による問題



前述したように、成長に従い身体の緊張が強くなったり、固さが生じやすくなります。また骨自体も成長するため、筋肉の伸びが十分でなければより筋肉が突っ張ってしまいます。その状態で衣服を着せるとなれば無理な身体の動かし方になることもあり、子どもたちが痛みや不快に思ったり、そのため介助者も精神的に辛く感じることもあるかと思います。

身体の成長による問題の中では「体格にあった服のサイズがない、今まで着用していたロンパース等が着用出来なくなった」といった意見が大きく聞かれました。一般的に市販されているサイズは60-80cm

であり、やはり子どもの成長には対応できません。そこで本誌では18ページに体格にあわせた工夫を行ったアイディアグッズ「ロンパース」を紹介しています。このようなちょっとした工夫で問題解決につながるかもしれません。また、市販でも、全開口、サイドファスナー、肩ホック等の機能を備えた上着や、ズボンもウエスト、股下がゆるく履きやすいバリアフリーな商品が販売されていますので、チェックしてみてください。

2位：衣服自体の問題

この問題の中では「ボタン、フック、サイズなど作りによる制限」「年齢相応、かわいいものがないなどデザインによる制限」が多く挙げられました。作りによる制限は、前述の通り市販服のサイズで大きいものがない、サイズがあった場合でもボタンやフックなどのつくりのために介助量が増加してしまうため、アレンジをすることが対応として重要かと考えます。例として、本誌では18ページに車椅子のままでも着用しやすい「車椅子パーカー」を紹介しています。

後者のデザインによる制限にも同様のことが言えますが、障がいをもつ子どもだけでなく全ての子どもたちが着ることが可能なユニバーサルデザインの衣服の開発を望みます。また、メーカーに対して必要性を訴えるとともに、下記に記載しているような作成方法・オーダーメイドが可能な業者等の情報をより多く提供することが必要と考えます。

- SunFlower

<http://11sunflower.com/>

- mou jonjon

<http://homepage2.nifty.com/UF/index.html>

- Skip/Skip

<http://skip-skip.ocnk.net/>



3位：専門家による対応の必要性

この問題では「デザインや服の作り（体格や拘縮など）に対する修正」「着脱しやすい衣服の情報や作成」の意見が多く挙げられました。お恥ずかしいことに私自身裁縫が非常に苦手で、お母さん・お父さんのアイディアやアレンジの技術に驚いてばかりいます。そのため、ここでいう専門家とはこのような技術や考えをもったお母さん・お父さんであり、私たちの役目は専門家からの情報（時間や費用、依頼業者があるかなど）をより多くの障がいを持つ子どもの親御さんやご家族に伝え、その場で挙げた意見などを業者に伝えていくことだと思っています。

本誌では19ページに胃瘻患者のための衣服としてアレンジした「胃瘻用ボタンホール」や一般の商品を活用した「靴ひもグッズ」を紹介しています。

今後もこのような呼びかけを行い、情報収集するとともに小児福祉部からも情報を発信していきたいと思っています。

（東京女子医科大学病院 図師 将也）

ロンパース



小さくなったロンパースのお腹の部分に不要になったTシャツを切ってお腹の部分に足しました。



肩の部分に布を足して身長伸びに対応しています。ここが外れるので点滴着としても使用できます。

車いすに乗ったまま着られるパーカー



パーカーの後ろを切る際に少しフードまで切り込みを入れるとかぶりやすいです。



胃ろう用ボタンホール



裁断+布・ボタンで出来る手軽さです。

実際に着た状態で胃瘻部を圧迫しない程度のゆとりを持てるよう、布の長さを調節しましょう。

靴ひもグッズ



*くつヒモとれな〜い

ウィニングワン株式会社 648円(税込)

靴ひもをワンタッチでほどけにくくし、さらにワンタッチで緩めることができる便利グッズです。一度通せばほどけにくく一瞬で驚きのフィット感。



*TWINS キャタピラン 1,480円

キャタピランは、脚とシューズのフィット感を高める「結ばない靴ひも」
ゴムひもの様に伸び縮みする伸縮性と、締め具合を自在に調整・固定できるこぶ形状のふくらみが特徴です。

男性・女性・子ども用様々なサイズが用意されています。

HICKIES

TURN ANY SHOE INTO A SLIP-ON
ONE SIZE FITS ALL
CUSTOMIZE YOUR FOOTWEAR

HICKIESはユニバーサルで使われた最新技術の
リコーズメッシュ素材で
あらゆるシューズを簡単に履ける
「スリッポン」へと変換することができます。



*HICKIES 1,890円

様々な靴の靴ひもをHICKIESに変えることで手軽に履けるスリップオンタイプに変更できます。

靴ひも穴への通し方を変えればきつさも調整することができます。





人類が誕生してから現在まで様々な移動手段が発明されてきました。

より遠くに、より速く、より快適に、よりカッコ良く、色々な想いから移動は進化し、多種多様なかたちに変化しています。

移動は目的を達成するための過程であり、ときには移動が目的になる場合もあります。

私たちの生活から切り離すことのできないものといえるでしょう。

移動は、「能動的な移動」と「受動的な移動」に分けることができます。

「能動的な移動」とは、自ら意図的に移動することであり、ハイハイ・歩行・車椅子駆動などが挙げられます。

障がいを持った子ども達は、能動的な移動のために車椅子・杖・装具などを使用します。

それらは子ども達と常に行動をともにしているため、快適性や格好良さなどが重要になります。

「受動的な移動」は、介助者などによって移動することであり、抱っこ移動・バギー移動などが挙げられます。

これらの移動手段の子ども達は、体温調節が苦手だったり、快・不快を表現することが苦手なことがあります。

夏の暑さ対策、冬の防寒対策、紫外線対策など、天候や気温への配慮はとても重要です。

子どもの様子は、こまめにチェックするようにしましょう。

また抱っこ紐やバギーの誤った使用方法による事故も起きています。

正しい使用方法を守ることはもちろん大切ですが、使用する子どもに負担がなく使えるものなのかリハビリ担当者に相談をしてみましょう。

*移動について困っていること

1位：身体の成長による問題

子どもの成長はとても早く、常に身体に合わせたものを用意することは大変です。

特に3～5歳、11～15歳頃は、身長や体重が急激に変化しやすい時期です。

また骨の急成長に伴い筋肉の突っ張りが強まり、側弯や尖足など身体の変化がみられやすい時期でもあります。身体に合っていない車椅子や装具を使い続けると、変形や機能低下が起こり、痛みの原因になる恐れがあるため、いつも以上に注意をしましょう。



2位：道具・機器の問題

車椅子やバギーを作製する際は、子ども達の乗り心地に加え、介助者の使い易さや持ち運びの便利さなども考慮する必要があります。

車へ載せるときに支障が出る場合もあるため、事前に車の高さや幅などを確認しておきましょう。

3位：専門家による対応の必要性

子どもに合った装具・車椅子の作製には専門的な知識を持ったリハビリ担当者や装具業者の存在は不可欠です。どのようなものが子どもに合うのか、少しでも気になることがありましたら、リハビリ担当者や装具業者に遠慮なく相談して下さい。

ご家族自身で福祉機器展に参加し、色々な装具・車椅子を実際に視てみるのも良いと思います。

(南多摩整形外科病院 津久井 洋平)



移動用抱っこひも

LittleMermaid

<http://littlemermaid.sakura.ne.jp>



寸法は実際に使用している利用者様サイズです。作成するときはお子様のサイズに合わせて調整してください。

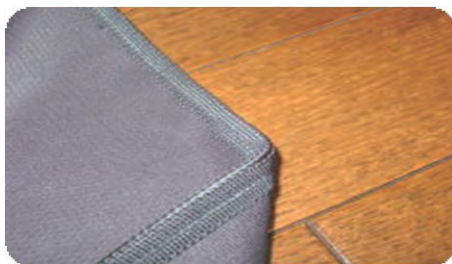
裏側 画像上の番号は作る順序を表しています

〈用意するもの〉

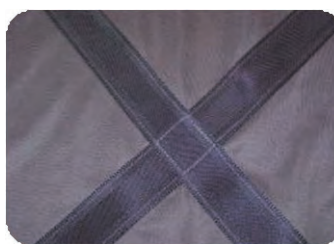
- 生地(伸縮し吸湿速乾性のもの)
90cm×57cm(断ち切り)
〈縦の長さは肩から膝までの長さです〉
- テープ(37mm幅) 約5m
- バックル 4組(幅は↑のテープにあわせて)
- メートライン(2cm幅) 約1.2m
〈縦の長さ×2(+縫い代分)〉

- ① 上下の端の始末をします。
5cm幅で三つ折し、ミシンをかけます。薄い生地の場合にはキルト芯を一枚はさむといいでしょう。このときテープはまだ縫い付けません。

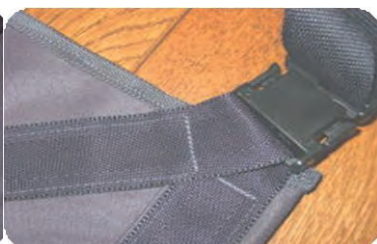
- ② メートラインで生地をくるみ
両端の始末をします。



- ③ テープをぐるりと縫い付けます。



テープの端はクロスした部分の下側にします



四隅はバックルを通してから縫います。



表から見たところ



上下部分裏側

- ④ バックルにテープを通し縫い付けます。



片側は縫いとめて、片側は長さを調節できるようにフリーにしてあります。

バックルとテープについて
バックルには子供の体重がかかります。できるだけ丈夫なものをつけてください。耐重量などを参考にさせていただきます。

テープはできるだけ柔らかいもののほうがあたりがやさしくなります。

バックル、テープ共にバッグやさんやアウトドアショップで売っているものが良いと思います。

レインカバー



通気孔



手作りハンドルリム



＜使用するもの＞

- ・ゴムのワイヤー（ホームセンター等で購入）

送風クッション AEROSEAT(エアロシート)



電池式の空調が搭載されたシートです。背中と背もたれの間にもこもった熱は通気性の高いクッションシートを通過し送風によって排出されます。ヘッドレストに固定できるように工夫しました。夏場に限らず車椅子やバギーに乗っている子ども達の背中や尻の下は汗をかき、蒸れています。背中やお尻の下の不快感を少しでも取り除きたい方はお試し下さい。乾電池で動き、滑り止めも付いていて、洗濯可能なエアロシートは、車椅子やバギーでのお出掛けに最適です。

エアロシート

—送風クッション AEROSEAT／東京西川（西川産業）—

椅子の上に敷くだけで、お尻の下を風が通り抜け、涼しく快適に過ごせる送風シートです。

○小型ファンで換気による放熱&除湿

○2段階の风量調整が可能

○乾電池式で、风量[弱]の場合連続約33時間、风量[強]の場合連続約20時間稼働

○裏地には滑り止め加工

○抗菌防臭加工/家庭で洗濯可能

価格 : オープン価格 (店頭想定価格¥4,980前後)

サイズ : 約41×61cm

商品詳細

http://www.nishikawasangyo.co.jp/documents/AEROSLEEP_Half_Sheet_release.p

ルームシューズ



自作したカバーです。大きさや柄、生地が自由自在です。その他の方法として、普通の靴下を装具に履かせる方法もありますが、滑り止めのない靴下を用いると転倒につながるため、注意が必要です。

ギプスシューズ



学校で室内に入るときに履き替える時間を省く目的で使用しています。着脱が簡単で色もカラフルなため、気に入っています。

*ギプスシューズ (株式会社 ファーストレイト)

サイズ・カラー

：Sサイズ (イエロー) 17.5~20.5cm

：Mサイズ (ブルー) 20.5~24.0cm

：Lサイズ (グレー) 24.0~26.0cm

：XLサイズ (ネイビー) 26.0~28.0cm

価格：一足 1,500円前後 (2015年2月現在)

購入方法：Amazonなどで『ギプスシューズ』と検索して購入可能

製品詳細：<http://www.first-rate.co.jp/p33.pdf>

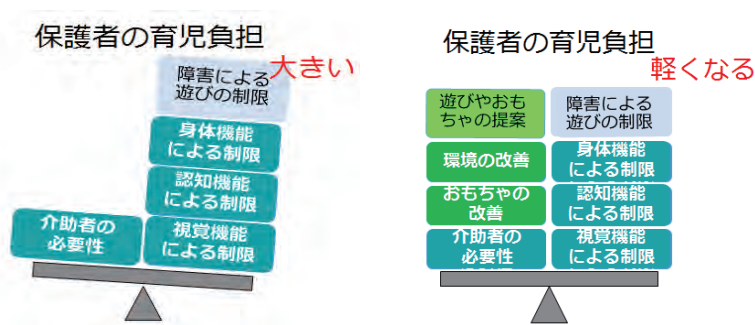
四つ這い用膝当て







遊びには、「感じる遊び」や「演じる遊び」、「競う遊び」、「賭ける遊び」、「つくる遊び」などの種類があり、子どもは遊ぶことで様々な感覚刺激を得て、運動や認知機能を向上させていきます。これらは子ども達の発達において相互に関わり合っていますが、障がいを持ったお子さんは、遊びが制限されやすく、遊びによる感覚入力が限られてしまい、遊びの幅が広がりにくいことがあります。その結果、保護者の方の育児負担や生活の不安が大きくなる場合があります。保護者の方々がお困りである『様々なおもちゃの必要性』や『遊びの制限』に対して、おもちゃの改造や環境設定を行うことで、これらの育児負担を減少させ、お子さんにより多くの遊びを提供できる可能性があります。



*おもちゃに関して困っていること

1位：様々なおもちゃの必要性

28ページのでこぼこ絵本は、「感じる遊び」として、立体認知の感覚が養われます。お子さんの年齢によっては、親御さんと一緒に作ってみてはいかがでしょうか。「つくる遊び」としての要素も重要です。また、29ページにあるようにおもちゃのスイッチを工夫することで、手を上手に使いにくい子ども達の遊べるおもちゃを増やすことができます。

29ページのプラズマカーは、「感じる遊び」や「演じる遊び」、「競う遊び」など、複合した遊びの提供にとっても有効です。お座りが少し安定しないお子さんは、バンボや簡易的な座位保持具を固定して、転倒に備えましょう。

2位：遊びの制限

29ページの車椅子のテーブルに固定して遊ぶおもちゃのように、「感じる遊び」を行うにあたっての環境作りは重要です。テーブルに固定するだけでなく、お子さんの腕に装着することで両手遊びを促し、目と手の協調動作の促進にも作用します。

3位：遊びやおもちゃの提案

28ページのペットボトルトルネードや手づくりのペットボトルのおもちゃは、「感じる遊び」や「競う遊び」、「つくる遊び」など、視覚や腕の複合的な動作に働きかけます。ゆっくり動くビーズやスパンコールはとてもきれいですよ。



(東京工科大学 楠本 泰士)

でこぼこ絵本(手作り絵本)



めくって遊ぼう



①厚紙に絵を描き



②絵の頭文字を被せてテープで止める



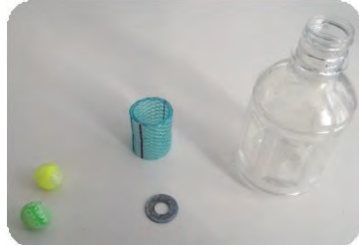
③完成

ペットボトルのおもちゃ



小さいペットボトルの中に水を入れてビーズやスパンコールなどを入れるとキラキラしてキレイです。
また、中に入れる水に食事用のトロミ剤やシリコンオイルを入れると動きがゆっくりとなり目で追いやすくなります。

ペットボトルルネード



<使用するもの>

- ペットボトル 2本
- 透明ビニールホース
(内径25mm×外径30mm×長さ3cm 1個)
- ワッシャー内径13mm 1個
- ビニールテープ

- ① 透明ホースを長さ3センチに切る。
- ② 1本のペットボトルの口をホースにねじ込み、水をたっぷり入れる。
- ③ ホースの口からワッシャーを落とすと、ボトルの口にはまる。
- ④ 残る1本のペットボトルをぎゅっとホースに押し込む。
- ⑤ 水漏れ防止のため、ホースとペットボトルの接続部分をグルーガンで止める。
- ⑥ ホースとペットボトルのつなぎ目をビニールテープで張りつけて完成。

おもちゃスイッチの工夫

接点式入力装置

ビッグスイッチツイスト

大きくてしっかり押せる



BDアダプター

スイッチで動かすために



「BDアダプター」と「ジェリービーンズスイッチツイスト」や「ビッグボディスイッチ」を用いることで指先の不自由な方でもおもちゃのスイッチのON・OFFが容易となります。どの商品もパシフィックサプライ株式会社で販売しています。

テーブルに固定して遊ぶおもちゃ



ベルトを車椅子のテーブルに固定し、おもちゃが落ちないようにして遊びます。

プラズマカー



下肢の不自由な児でもハンドルを動かすだけで走り出す！

発売元：ラングスジャパン

カラー：全6色（レッド、ブルー、イエロー、ピンク、グリーン、パープル）

【URL】 <http://www.rangsjapan.co.jp/plasmacar/>





1位 食事道具の充足

- 子ども用の握りやすいスプーンやフォークが欲しい—
- すべらない食器やこぼれにくいコップが欲しい—
- 子どもから大人まで使えるようにエプロンのデザインを増やしてほしい—

私達はそれぞれ専用の食事道具を持っています。美味しく食べるには、自分にあった食器や食具を使うことが大切です。子どもの場合は、成長に合わせて大きさを変えていくことが必要です。

また、スプーンやフォークを使う上で確認しておきたい動作が3つあります。

- 1つ目は小さなものを人差し指と親指でつまめますか。
- 2つ目はチョキが出来ますか。
- 3つ目は鉛筆を3本の指で持てますか。



それぞれの動作が出来ているかによって持ち方や使う道具が変わってきます。

持ち方を先に進めるのではなく、こぼしが少なくなってきたら次の段階の持ち方を試してみるようにします。

両手が上手く使えない子に対してはスプーン持ってない手を支え手として使わせようとするとうスプーン動作自体がおろそかになってしまいます。滑り止めなどで対応しましょう。力のコントロールが苦手な子に対してはスプーンの柄を太いものにしたり、縁が高めの器ですくいやすい器を選びましょう。使いにくい場合は使いやすいように工夫をする必要があります。使いやすい工夫された商品を33ページに紹介したいと思います。

子どもから大人まで使えるようなエプロンのデザインを増やしてほしいという要望には34ページにアイディアグッズの食事用エプロンの作り方が掲載してありますので参考にしてみてください。

2位 形態食調理の負担

- 形態食の準備、作り置きが大変、レパートリーが少ない、調理しにくい—

毎日の食事を作るのは家事の中でも時間がかかることですが、手作りの美味しい食事を安全に楽しんでほしいことだと思います。食材や器具、工夫によって調理の負担を減らすことが出来たらと思います。

まず、作り方の工夫として汁物・煮物などの汁を使い、タレやあんにする、類のペーストはとろみ剤の代用にする、野菜のゆで汁を汁物にする、ペースト食の食材をミキサーにかけるときの水分に活用するのも良いでしょう。食物繊維が多い食材は繊維を断つように切る、また焼き物や揚げ物を更に煮ると柔らかくなります。一度に作ったものを冷蔵庫・冷凍庫で作り置く、冷凍食品・缶詰・レトルトパック・市販のも

のを利用すると便利です。「あいと」は素材の形はそのままに、下で崩せる軟らかさ、少ない量でも栄養摂取しやすいように作られています。まずは誕生日やクリスマスなどの特別な日に利用してみてもいいでしょうか。とろみ剤は牛乳用や粥でも離水しにくいものなど用途に合わせて使用すると食べ易いと思います。

調理器具では、簡単に作りたい時はスープメーカー、軟らかくしたい時には圧力鍋、少量の食物ならハンドミキサー、とろみをつける時にはミルク泡だて器など調理器を揃えていくと負担も軽減すると思います。ミキサーの各特徴は下記の表をご参照ください。形態食のレシピはインターネットで検索すると子供の病院や療育機関などのホームページで掲載されていますので参考にしてみてください。

3位 食事介助の負担





一食べこぼしが多く、周りが汚れてしまう、口唇介助などの介助動作が大変一

食べこぼしが多い子に対してはアイディアグッズのエプロンを試して頂けたらと思います。介助が必要な方には基本的な介助として抱っこによる介助と椅子を使用したものがあります。

後頭部と下顎を支え、顔が上を向き過ぎること、過剰に口が開くことを防ぐ、床面に対して体を倒しすぎないことに注意が必要です。椅子を使用したものでは介助者の身体的負担を軽減することができます。

座位保持椅子には子どもに合わせて調整できる基本的な姿勢的機能が整っています。それに加えてヘッドレスト、バックレスト、リクライニング角度などの調整機能が備わっていると食事の際には便利です。市販の椅子を利用する場合は、タオルやウレタンで枕を作るなど、姿勢のアイディアグッズを利用して工夫をすると頭が安定することが出来ます。

(緑成会整育園 石橋 哲弥)

	フードプロセッサ	ハンドブレンダー	コンパクトミキサー	ブレンダー
タイプ				
特徴	食材の水分でミンチ状～ペースト状にできる。製品によっては液体・粉は扱えない。(蓋から出てくる)しかし、最近では低速回転・高速回転の回転数の設定とカッターの交換で液体や粉もそのまま使用できる製品がある。	液体→水分を含む柔らかい食材→硬い食材の順に入れるが、食材全体が粒状になった時点でハンドブレンダーを上下に動かすと早くペースト状にできる。ただし、カッターが短いので、冷めたい動物油などではカッターに付着して、回転不足になる。	液体→水分を含む柔らかい食材→硬い食材の順に容器に入れる。刃の種類によってはミルサー(粉末にできる)が使用できる場合があるが、ミルサーは硬い物(氷や骨など)や粘りのあるもの(納豆や山芋)は使用できない。	柔らかい食材は2~3cm、硬い食材は1cmに切る。液体がないとカッターが空回ってしまうので、柔らかくても粘りの強い食材も必ず液体を入れる
連続使用時間	3~4分が多い	1分が多い。15秒程度の連続でも合計1分程度が推奨 1分を超えた場合は30分以上モーターを休ませる		3~4分が多い
温度	食材及び液体温度は氷~40度(ただし、カッターは氷可能としているものに限る)			
お手入れ	パーツの分解と取り付けに手間を要する	簡単	簡単 ※パッキンの消耗がある	簡単 ※★部分が重い
収納設置	大きいので、場所をとる(他と比べて)	分解できる、持ち運びが簡単	コンパクト(他と比べて)	高さがある。比較的場所をとる(他と比べて)

*引用: 社会福祉法人ボフ・すみれ福祉会 花の郷 関根まきこ 氏

はじめておはし



*はじめておはし（コンビ株式会社）
手指の発達を考慮した無理のないトレーニングで、ママやパパに見守られステップアップし練習することができます。
価格：1,000円（+税）

くるくるグリップ



*くるくるグリップ（販売元ファイン株式会社）
着脱がしやすく、様々な太さ、形状の柄に取り付けられる為、便利です。
価格：500（+税）

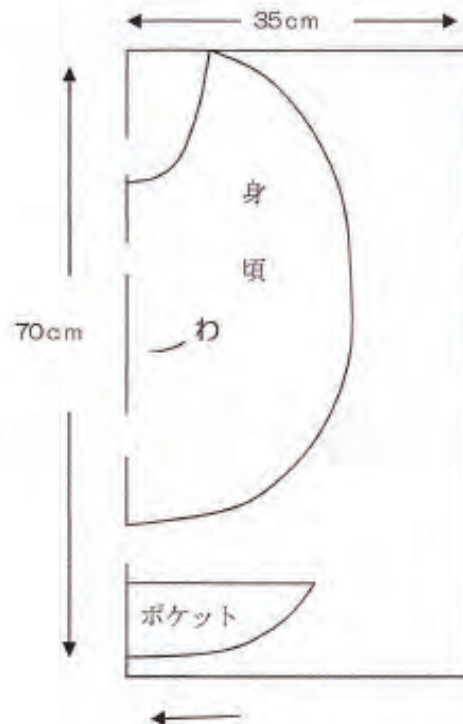
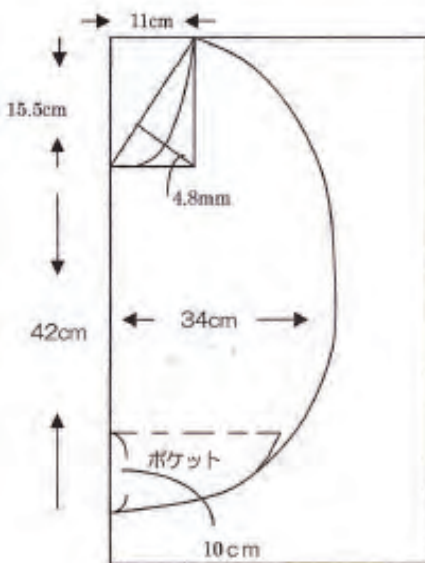
食事用エフロン



型紙



裁ち方図



出来上がり寸法
襟ぐり 4.5cm 丈 57.5cm

<用意するもの>

- ・撥水性布 70×70cm
- ・バイアステープ 80cm
- ・マジックテープ 40cm

バイアステープでポケット口と見頃周り、首周りを縁取りし、マジックテープを首の後ろに付ければ出来上がり。

※ ポケット口が下に開くのを防ぐために、ポケットは見頃より両端1cm狭く取る。

※ マジックテープは首に当たらないように、上になる方を短めにする。





その他困っていること

1位：福祉用具に関する要望—サイズの幅を増やしてほしい おしゃれで安価なものがほしい

福祉用具は、子ども達がいやすいために設計、製作されていますので、子ども達のサイズに合ったものであるはずですが、実際には車いすやバギーなどは、すべてのサイズに対応していません。それでも、だんだんサイズの幅が広がってきています。これは、利用する人たちが要望してきた成果ともいえますので、これからも要望していくことが必要です。また作成の方法として、既製品を使うだけでなく、オーダーメイドで作成したり、成長に応じてサイズが変更できるタイプのものを利用したりすることもできます。

おしゃれなものについても、利用する方が要望していくことが必要です。また、値段については、福祉用具は需要が少ないためどうしても高めに設定されています。できるだけ、交付の補助制度等を利用したり、利用している人同士で譲り合う工夫も必要です。

2位：教育や癖で困っていること—自傷する癖をやめさせたい 体動の激しい児の入浴介助が大変

子どもによっては、独特の動きや癖があります。これらの動きや癖は、発達や成長等によっていずれは良くなっていくことが必要ですが、すぐには難しいことがあります。

自傷については、肘を曲がりにくくする道具が38ページにあります。これは、注入のチューブを抜かないために作成された道具で、手が顔に届かないようにするためです。ただし、自傷を防ぐために用いても、おそらく別の方法で自傷を行ってしまう可能性があります。

体動の激しい児の入浴介助では、シャワーチェアを用いる方法もあります。シャワーチェアは、日常生活用具として補助が出る場合がありますので、市区町村の障害福祉課などに問い合わせるとよいでしょう。自傷や動きの激しさについては、療育施設や学校の先生、心理の専門家等と家族が協力して、これからの成長に沿って解決していく方向が大切だと思います。

また、学習の道具として、本や教材が見やすくなるための斜面台の作り方が38pに乗っていますので参考にしてください。



3位：設備やサービスの問題提起—オムツの交換台が小さく、成人では使えない。福祉用具は購入前に実際に試してみたい。

公共の施設には、バリアフリーのトイレの設置が義務付けられているために、様々な場所でこのようなトイレが見られます。しかし、赤ちゃん用のオムツ替えシートはあっても、大きなサイズのベッドはほとんど見られません。ホームページで調べても、〇〇県〇〇市にあるという情報はあっても、都内に大きなベッドがあるトイレの場所が一目でわかるような情報があるまでには至っていません。このようなトイレが増えることを切に願っていますが、現在の状況では、公共交通機関を利用して出かけても、トイレに困ることがあります。車いすやバギーにリクライニング機能をつけるという方法もあります。ただこれは、車いすはバギーのサイズが大きくなるというデメリットもあります。とりあえずの方法として、クッション性のあるマットを丸めてまたは畳んで持っていき、トイレの床が十分に広ければ、ここに敷くという方法もあります。ただし、乗せ降ろしは大変にかもかもしれません。

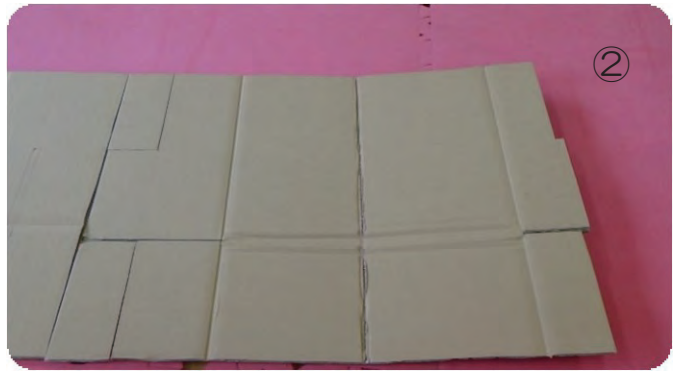
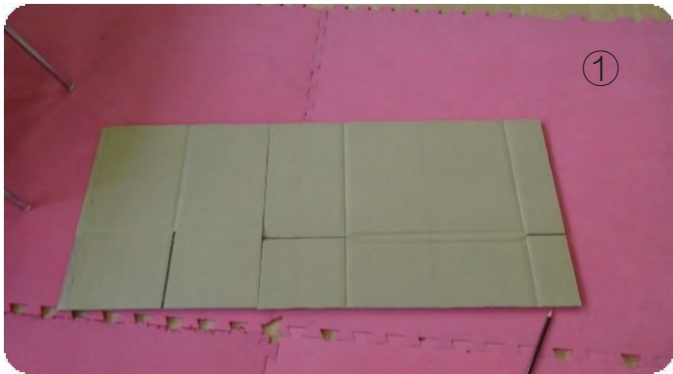
福祉用具は、試してみることが可能なことが多いので、是非、業者に頼んでみるとよいと思います。試して使ってもらうことは、宣伝にもなるし、実際に使ってみての様子が事前によくわかるので、業者にとってもメリットになると思います。

(豊田 利郎)





段ボール斜面台



- ① 2枚のダンボールを合わせて大きさを決めます
縦50cm+30cm+30cm 横50cm
- ② ストッパーの凸部を5cm残して切ります
- ③ 前方の書載台と滑り止め凸部を残します
- ④ 角度調整の切抜き部を入れます
- ⑤ 完成

肘装具(鼻チューブ抜去防止用)



肘を軽く拘束して、鼻チューブを抜かなくするために作りました。
雑誌の表紙のような厚紙に布を貼ってマジックテープで止め、できた物を肘に巻きます。



東京都理学療法士協会 小児福祉部のご紹介



● 理学療法士ってなに？ ●

理学療法士（PT:Physical Therapist）は「病気」「けが」「老化」「生まれつき」などの原因で身体が不自由な方々に対して、より充実した日常生活を送って頂けるように様々な働きかけをする仕事です。具体的には、自由にならない身体を自由に動かせるように、筋力や関節の動きを改善することや動き方、身体の動かし方を指導したり、痛みなどを取り除くこと、さらに生活にあった道具の選択や使い方のアドバイスを行っています。

● 子どもの理学療法ってどんなことをするの？ ●

「生まれつき」「病気」「けが」などで身体に障がいを持ったお子さんに対して、一人一人の評価に基づいて主に以下を実施します。

- ・座る、立つ、歩くなどの粗大運動機能の獲得
- ・身体が固くならないようにストレッチなどの体操実施
- ・足の装具や車いす、座位保持椅子などの作製のアドバイス
- ・呼吸状態維持、改善を目的とした呼吸理学療法
- ・ご家庭で出来るポジショニングや体操の提案

部員の主な勤務先

- ・東京都立北療育医療センター
- ・島田療育センターはちおうじ
- ・国立成育医療研究センター
- ・東邦大学医療センター大森病院
- ・訪問看護ステーションそら
- ・発達支援研究所スプラウト
- ・東京女子医科大学病院
- ・南多摩整形外科病院
- ・東京小児療育病院
- ・緑成会整育園
- ・東京工科大学
- ・清瀬療護園

● 小児福祉部は何をしているの？ ●

東京都在住の障がいを持った子ども達、ご家族などに対して、情報発信、年1回の講習会開催などを実施しています。2014年度は小児リハビリ実施施設の情報をまとめた「東京都小児リハビリテーションマップ」を発行しました。また子ども達に関わる理学療法士の知識や技術、情報共有を目的に「東京都小児理学療法セミナー」の企画、運営を始めました。メンバーは東京都にある障がいを持った子ども達のリハビリ施設で働いている理学療法士が集まっています（現在は部員14名）。

過去の活動実績

■2013年度

*講習会

- ・発達が気になる子への生活動作・運動の教え方

鴨下賢一先生（静岡県立こども病院）

■2014年度

*講習会

- ・重症心身障害児・者に対する身近なものでできる姿勢ケア

黒川洋明・加藤真希・重森健介（小児福祉部）

*「東京都小児リハビリテーションマップ」の発行

東京都理学療法士協会のホームページよりダウンロード、印刷が可能です

*「第1回東京都小児理学療法セミナー」開催

脳性まひを持つ子どもたちへの理学療法の展望 一過去・現在 そして未来へ

奥田 憲一 氏（社会福祉法人 慈愛会 医療福祉センター聖ヨゼフ園）

